

## 袖ヶ浦市基本構想（案）に係る意見の募集結果について

### 1 意見募集の概要

- (1) 意見の募集期間 令和元年6月27日（木）～7月26日（金）
- (2) 提出者数・意見数 9人・22件
- (3) 意見の分類と市の対応状況

対応区分		件数
A	意見を反映し、原案を修正したもの	8件
B	意見の趣旨・考え方が既に原案に盛り込まれているもの	4件
C	意見を反映しないで、原案どおりとしたもの	7件
D	その他の意見、今後の市政の参考とするもの等	3件

### 2 意見の概要と市の考え方

整理番号	意見の概要	対応区分	意見に対する市の考え方
1	基本構想（案）全体が従来踏襲型で将来に対する市の明るい展望が見えない。	C	<p>基本構想は、これからの袖ヶ浦市がどのようなまちを目指していくかを示す、市政の根幹となる構想であることから、長期的な視点をもって取り組んでいくものと認識しております。したがって、これまで行ってきた計画的なまちづくりの成果を踏まえ、これからの時代の潮流や本市が抱える課題に対応した総合計画の策定を進めているところです。</p> <p>また、基本構想（案）の策定に当たり、現行計画の検証や市民まちづくりアンケート、市民ワークショップ、地域のまちづくり懇談会などを通じ、多くの市民の皆様とともに、本市が重点的に取り組むべき課題や目指すべき将来の姿を検討してまいりました。</p> <p>その結果、少子高齢化や産業振興等の様々な課題に対し、本市の特色である子育て・教育の充実、快適な生活基盤の向上、各産業の活性化等を図るため、人が集い、互いに協力しながら、安心して暮らし続けることができるまちを将来の姿とし、明るい展望を持って着実に発展することを目指そうとするものです。</p>

2	市民が今後も住んでいこうとする希望と夢のある構想・ビジョンが欲しい。	B	<p>今回の基本構想（案）では、基礎調査や様々な手法を用いて市民等の意見を伺い、市が目指す将来の姿と、実現するための視点を提示しております。</p> <p>市が目指す将来の姿の実現は、本市が抱える課題の克服とともに、市の発展と、市民が安心して住み続けることができるまちへとつながっていくものと考えていることから、今後、子育て・教育や産業など各分野の具体的な取組みを示してまいります。</p>
3	共通の視点について、「みんなでつくる」のフレーズは、市民と共同で行政運営を図るニュアンスだが、行政の本来の業務・義務を市民に委ねており、市民に負担を強いている。	C	<p>個人の価値観や地域の課題が多様化・複雑化している中において、課題の解決には様々な主体が連携して取り組むことが重要であると考えています。</p> <p>そのため、それぞれが持つ力を合わせたまちづくりを目指すため、その土台となる共通の視点として「みんなでつくるまち」を据えたものです。</p>
4	将来の目標人口について、目標人口の64,000人は、昭和52年度に出した昭和60年の目標人口と同じであり、明るい将来を考えた人口として非常に少ない。	C	<p>従来総合計画における目標人口は、過去のトレンドを用いて人口増加を前提とした手法により設定しており、目標人口と現実が乖離する結果となっておりました。</p> <p>このため、平成22年に策定した現行の総合計画では、まちづくりの効果を加味した目標人口を設定し、計画を実行した結果として目標人口を達成したところであります。</p> <p>直近の社会保障人口問題研究所の人口推計によると、本市の人口は社会増（転入超過）を主要因として現在は増加をしているものの、今後減少に転じることが見込まれていますが、この推計は本市独自の取組みによる人口増が加味されたものではありません。</p> <p>このことから、今回の基本構想（案）では、社会保障人口問題研究所の人口推計を基に、市が進める取組みの効果や市内の開発状況等を分析して人口の将来展望を示した「袖ヶ浦市人口ビジョン」（平成28年2月策定）における考え方や手法を踏まえ、最新の人口動向や市を取り巻く状況等を考慮し、将来の姿の実現に向けた効果的なまちづくりを展開することにより、達成すべき目標人口を設定しております。</p>

5	<p>土地利用の方針について、拠点とする3地区では袖ヶ浦の良さが発揮できず、横田地区まで連携するサブ拠点もない。</p> <p>地区間連携が図れないと、拠点が孤立し消滅する可能性がある。</p> <p>都市計画を見直し、市街化区域を増やさないと交通アクセス等のポテンシャルが発揮できず宝の持ち腐れに終わる。</p>	B	<p>現在、市では総合計画の策定に併せ、市の都市計画に関する基本的な方針である次期「都市計画マスタープラン」の策定を進めております。</p> <p>この中では、3駅を中心とした「都市拠点」に加え、人口減少の抑制と既存コミュニティの維持を目的として、内陸部の住宅地や集落地である「のぞみ野地区」、「根形地区」、「平岡地区」を「地域拠点」として新たに位置づけ、地域住民の活動拠点として形成するとともに、各拠点間及び隣接市を、道路や公共交通などのネットワークで結ぶことで、生活サービス機能の相互補完などの地区間連携を図ろうと考えています。</p>
6	<p>「誰もが活躍するまち」の視点到賛同するが、「障がい者、外国人、男女の別などの違いによって差別されることなく市民の誰もが活躍できるよう、パラスポーツの推進や声掛けサポート運動などを展開し共生社会の実現を目指します」と追記しないか。</p>	B	<p>誰もが活躍するまちを目指していくに当たっては、ご意見のとおり、誰もが積極的に社会参加していくことができる地域づくり、さらに、相互に尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型のまちづくりが必要になると考えております。</p> <p>しかしながら、基本構想は、市が目指す将来の姿に向けた基本的な考え方を示す、まちづくりに係る構想であるため、具体的な取組みについては、基本計画及び実施計画にて示してまいります。</p>
7	<p>「安心して暮らせるまち」の視点到賛同するが、災害に強いまちづくりを推進するため、具体的な計画の作成にあたっては、防災計画の指針となる「千葉県国土強靱化地域計画」や上位である「国土強靱化計画」の趣旨に沿ったものではないか。</p>	B	<p>市では、災害に強いまちづくりに向け、防災体制の整備や地域防災力の強化等に取り組んでいるところです。</p> <p>今後も市民の安全確保に向けた取組みを継続する必要があると考えており、「強靱化（あらゆる災害を見据え、最悪の事態に陥らないよう、事前に強靱な仕組み等をつくりあげる）」についても検討する必要があると認識しております。</p> <p>しかしながら、基本構想は、市が目指す将来の姿に向けた基本的な考え方を示す、まちづくりに係る構想であるため、具体的な取組みについては、基本計画及び実施計画にて示してまいります。</p>

8	<p>「みんなで作るまち」の視点に賛同するが、より効果的にするため、「市民・地域・行政などが連携・協力しながら」「市民・地域・事業者・行政などが連携・協力しながら」としないか。</p>	A	<p>共通の視点である「みんなで作るまち」における「様々な主体」や「市民・地域・行政など」には事業者についても含んでおりますが、現在の表記では誤解が生じるおそれがあり、また、参考資料1では「市民や各種団体、民間企業など地域社会を構成する様々な主体」との表記をしていることから、表現を修正いたします。</p>
9	<p>参考資料に記載された市の沿革の中に市が誕生した箇所があるが、「袖ヶ浦」から「袖ヶ浦」への変化は大きいことと感ずるので、それが市の発展の第一歩のような内容もしくは思いについて文面を追加しないか。</p>	D	<p>「袖ヶ浦」の表記については、様々な史料がある中、市制施行の際に「袖ヶ浦市」としたところです。</p> <p>市制施行はまちづくりにおける大きな変化ではありますが、表記の変更がその後のまちづくりの第一歩とまで位置付けるのは難しいと考えます。</p> <p>(※参考資料への意見)</p>
10	<p>基本的視点の内容表現は良く理解できるが、今後の詳細施策は、誰でも理解しやすいように具体的に作成してもらいたい。</p>	D	<p>今後の基本計画及び実施計画の策定に当たり、各分野における方向性や目指す姿など、理解しやすい具体的な計画づくりに努めてまいります。</p>
11	<p>共通の視点で「今後も効率的・効果的な・・・」と書かれているが、現在も取り組んでいる中で、これからの取組みへの決意的な表現にしてはどうか。</p>	C	<p>共通の視点である「みんなで作るまち」は、様々な主体が連携してまちづくりを推進することが最も重要であり、また、その連携にあたっては、市においても効率的・効果的な行政経営に取り組む必要があると考えております。</p> <p>ご意見のとおり、現在も取り組んでいることを含めた表現であるため、決意的な表現を記載することは考えておりません。</p>

1 2	市が目指す将来の姿の「緑かがやく」の部分 は、基本構想のメインとして一考願いたい。なんとなくでは意味がない。	A	市が目指す将来の姿において「緑かがやく」の箇所は、他の内容と比較して抽象的な観念で示しています。 これは、「緑」については、これまでの基本構想でも使用されていること、また、本市の特色である緑が広がる豊かな自然に加え、生活環境を保全することによる、住みやすいまちづくりを目指すことを表現したものでありますが、ご意見のとおり、「緑かがやくまち」について明確に表現することで、より市民に将来像が浸透できると考えられることから、説明文を修正いたします。
1 3	「誰もが活躍するまち」の「人間形成を育む学校教育」については、すべての年齢の人を対象にしていると考えられるので、「人間形成を育む幼児・学校教育」とすべきではないか。	A	ご意見にあるように、「誰もが活躍するまち」はすべての年齢を対象としており、一人ひとりの個性や能力を活かすためには生涯を通じた学習機会の提供が重要と考えております。 今回「学校教育」との特定の表現で説明しておりますが、幼児期からの教育機会の提供についても重要であることから、包括的な表現となるよう、説明文を修正いたします。
1 4	「誰もが活躍するまち」の「このため～」の部分が子どものみが念頭におかれているように受け取られるので、 「現在活躍している市民の知識・能力・経験等を活かしつつ」を加えることで、「みんなでつくる」の言葉が生きてくると思う。	A	「誰もが活躍するまち」の実現には、子どもだけでなく、市民の誰もが活躍できるまちづくりが重要であると認識しておりますが、ご意見にあるように、案の記載内容では誤解を招くおそれがあることから、説明文を修正いたします。
1 5	基本的視点を実現するにあたり、市内の交通網整備が欠かせない。高齢者が活躍するためにも、無理に運転することなく移動できるよう早急に取り組むべきであり、基本構想において表現できないか。	D	交通に関する項目につきましては、参考資料「次期総合計画策定におけるこれまでの取組み」の「V. 今後のまちづくりに向けた課題」において、「多様な交通手段の確保」として、市民の暮らしを支える持続可能で多様な交通手段の確保を大きな課題ととらえております。 なお、基本構想は市が目指す将来の姿に向けた基本的な考え方を示すものであるため、基本計画において公共交通を位置づけ、市内での移動手段確保に関する取組みを推進してまいります。

16	<p>市が目指す将来の姿の説明に「事業者や行政の持つ特性を最大限に活かして」とあるが、何を表しているのか疑問である。「事業者や行政が一体となって」など市民が理解できる平易な表現が良い。</p>	A	<p>ご意見を頂いた記載は、市が目指す将来の姿のうち、「みんなでつくる」の説明として表現した箇所であり、将来のまちづくりに向けて、事業者でなければ実施できないこと、また、行政でなければ実施できないことがあり、市民や地域を含め、それぞれが協力して実現を目指そうとする考え方を表現したところですが、ご意見にあるように、平易な表現となるよう、説明文を修正いたします。</p>
17	<p>市が目指す将来の姿の説明に「利便性の高い交通アクセスや多様な地域資源など」とあるが、具体的な表現を追加したほうが、課題等が明確になるのではないかと。</p>	A	<p>ご意見を頂いた記載は、人が集うまちづくりに向けた手法として、本市の魅力としての特性を記載したところですが、具体的な表現の追加は主眼が変わるおそれがありますが、誤解のないよう表現を修正いたします。</p>
18	<p>基本的視点に「誰もが活躍するまち」とあるが、活躍は感じ方が違う人も出てくるのではないかと。</p> <p>「一人ひとりが存在感あるまち」の方が、活躍されている方の顔が見え、達成感なども味わえ、活力アップや向上心につながると考える。</p> <p>活躍しても存在感がないと継続性がない。</p>	C	<p>「誰もが活躍するまち」では、市民の誰もが個々の状況に応じ、生きがいをもって活躍するまちを目指すだけでなく、その活躍が共通の視点である「みんなでつくるまち」と連携するものとなっています。</p> <p>ご意見にある「存在感」は、「その人の独特の持ち味」との意味があり、「みんなでつくるまち」との結びつきが弱くなるものと考えております。</p>

19	<p>目標人口については、目標ではなく将来の人口推移と考える。</p> <p>基本的視点から考えても、市の財政は今以上に良くなると思えないし、目標も達成できると思えない。</p> <p>一人ひとりの生産性向上や付加価値を上げる施策を見出さないと人口が減るとするのは、目標設定としての確でない。</p>	C	<p>今回の基本構想（案）では、社会保障人口問題研究所の人口推計を基に、市が進める取組みの効果や市内の開発状況等を分析して人口の将来展望を示した「袖ヶ浦市人口ビジョン」（平成28年2月策定）における考え方や手法を踏まえ、最新の人口動向や市を取り巻く状況等を考慮し、将来の姿の実現に向けた効果的なまちづくりを展開することにより、達成すべき目標人口を設定しております。</p> <p>これまでのまちづくりの効果により、本市の現在の人口は社会増（転入超過）を主要因として増加し、現行計画の目標人口を達成しておりますが、少子化による若年層の減少や晩婚化等の影響から、10年以内には減少に転じると想定しており、また、財政状況も楽観視できないと認識しております。</p> <p>そのため、基本的視点のひとつに、産業の活性化や雇用の創出などの取組みを展開する「人が集まる活気あるまち」を掲げ、市民にとって魅力あるまちづくりを推進し、将来の人口減少の抑制につなげていこうとするものです。</p>
20	<p>基本的視点で「誰もが活躍するまち」とあるが、内容が子どもに重点を置いた偏り感がある記述で終わっている。就労世代や高齢者の活躍についてフレーズを追加してほしい。</p>	A	<p>「誰もが活躍するまち」の実現には、子どもだけでなく、市民の誰もが活躍できるまちづくりが重要であると認識しておりますが、ご意見にあるように、案の記載内容では誤解を招くおそれがあることから、説明文を修正いたします。</p> <p><b>【整理番号14と重複】</b></p>
21	<p>共通の視点の「みんなで作るまち」は、基本的視点1から3までの共通のエッセンスであり、市民の自律（「自立」ではない）を醸成し、市が支援することで具体化していくと解釈しているが、この文書では少しぼやけている（物足りない）ように感じた。</p>	C	<p>ご意見のとおり「みんなで作るまち」は、基本的視点1から3の実践にあたっての共通の視点として、市民・地域・行政等が持つ様々な課題の解決には、多様な主体が連携・協力して取り組むことが重要であるとしているものであり、行政も主体の一つと考えていることから、支援についての記載はしておりません。</p>

22	<p>市が目指す将来の姿における「緑かがやく」の部分、視点のどれに対応しているのか、わかりづらい印象を受けた。</p> <p>視点2「安心して暮らせるまち」の中で「緑があふれる快適な住環境の中で」など、緑豊かな環境に関する記載を追加したらどうか。</p>	A	<p>市が目指す将来の姿において「緑かがやく」の箇所は、他の内容と比較して抽象的な観念で示しています。</p> <p>これは、「緑」については、これまでの基本構想でも使用されていること、また、本市の特色である緑が広がる豊かな自然に加え、生活環境を保全することによる、住みやすいまちづくりを目指すことを表現したものでありますが、ご意見のとおり、「緑かがやくまち」について明確に表現することで、より市民に将来像が浸透できると考えられることから、説明文を修正いたします。</p> <p><b>【整理番号12と重複】</b></p>
----	---	---	--